

発熱量の測定

発熱量とは、単位量（気体燃料では 1m^3_{N} 、固体及び液体燃料では 1kg ）の燃料が完全燃焼した場合に発生する熱量のことで、燃料中の水分及び燃焼により生成される水分の蒸発潜熱を含む発熱量を高位発熱量（総発熱量）といい、高位発熱量から水分の蒸発潜熱を差し引いた発熱量を低位発熱量（真発熱量）といいます。

なお、熱量計で測定される発熱量は高位発熱量であり、低位発熱量は高位発熱量から計算により求めます。

表1 各種燃料の発熱量例

燃料種類	発熱量	燃料種類	発熱量 ^{※1}
輸入原料炭	28.9MJ/kg	プレミアムガソリン	35.1MJ/L
輸入一般炭	26.6MJ/kg	レギュラーガソリン	34.5MJ/L
輸入無煙炭	27.2MJ/kg	アスファルト	41.9MJ/kg
コークス	30.1MJ/kg	B重油	40.4MJ/L
原油	38.2MJ/L	黒液	12.6MJ/kg
LPG	50.2MJ/kg	廃材（製紙）	16.7MJ/kg
ナフサ	34.1MJ/L	廃タイヤ	20.9MJ/kg
軽油	38.2MJ/L	廃プラスチック	29.3MJ/kg
灯油	36.7MJ/L	RDF	18.0MJ/kg
A重油	39.1MJ/L		
C重油	41.7MJ/L		

※1：参考値

出典：「エネルギー源別発熱量表の改訂について」（平成13年3月 資源エネルギー庁総合政策課）

試験装置

